

研究論文について

(1) 研究論文の審査

本論文集の研究論文は、2段階（第一次審査、第二次審査）で審査を行った結果採用となったものである。審査は、1論文につき査読員2名により、審査スケジュールに則り行われた。なお、論文の条件は以下の通りとした。

住宅・まちづくりに関する、以下の報告区分に該当する研究論文とする。

- 1) 住宅・住宅系まちづくりに関して、新しい課題として有効な知見を得たもので、原則として未発表のもの
- 2) 住宅・住宅系まちづくりに貢献した設計・計画・活動などに関する提案的実践の報告
- 3) 住宅・住宅系まちづくりに関する問題提起的な論説

(2) 審査のスケジュール

◇応募登録

「建築雑誌5月号」誌上及びHPにて「第8回住宅系研究論文報告会」の開催を告知し、研究論文を募集。
2013年5月9日 応募締め切り。応募総数68題。

◇研究論文投稿

2013年7月4日 投稿締め切り。投稿総数40編。

◇一次審査

形式審査による不採用論文はなかった。

2013年7月12日～8月2日 40編について、査読者による審査。

2013年8月12日 一次判定会議開催。採用2編、再提出29編、不採用9編を判定。

◇再提出投稿

2013年9月9日 再提出締め切り。再提出29編。

◇二次審査

2013年9月11日～9月24日 査読者による二次審査。

2013年9月27日 最終判定会議開催。採用27編、不採用2編を判定。一次審査と合わせて最終的な判定結果は、採用29編、不採用11編。

(3) 審査の概要

◇形式審査

投稿論文（40編）について、運営幹事会による形式審査の結果、すべてが一次審査の対象となった。

◇一次審査

投稿論文（40編）の査読者による判定結果は、「採用+採用」2編、「採用+再提出」10編、「再提出+再提出」11編、「採用+不採用」1編、「再提出+不採用」11編、「不採用+不採用」5編であった。

このうち、「採用+不採用」「再提出+不採用」計12編について、運営幹事会において採否の審議を行い、8編を再提出、4編を不採用とした。その結果、採用2編、再提出29編、不採用9編とした。

◇二次審査

再提出論文（29編）の査読者による判定結果は、「採用+採用」27編、「採用+不採用」1編、「不採用+不採用」1編であった。

このうち、「採用+不採用」1編について、運営幹事会において採否を審議し、不採用とした。その結果、採用27編、不採用2編とした。

以上より、一次審査と合わせて最終的な判定結果は、採用29編、不採用11編となった。